

釜石電機は、  
モーター・ポンプの修理で  
「できること」がたくさん  
あなたの設備を**サステナブル**  
**(長寿命)**にいたします



釜石電機は、技術と工夫によってモーター・ポンプなどの  
回転機器を長寿命化して、東北地方の製造業、  
社会インフラ施設を支えます

## 釜石電機のメンテナンスサービスが選ばれる理由

✔ 様々な  
機種に対応



古いモーターや  
海外製モーター  
でも断らず  
親身に対応

✔ 故障原因を  
的確に診断



コイル焼き付き/  
絶縁不良/軸ブレ  
等の故障原因を  
突き止めて対処

✔ お客様の  
費用を削減



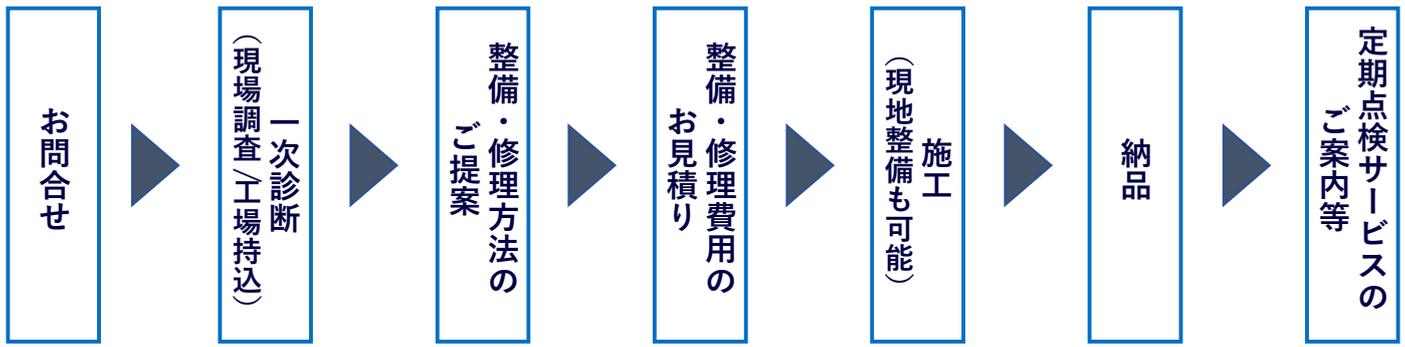
コイル巻き替え  
溶射施工により  
買い替えでなく  
修理で対応

✔ 機器寿命を  
伸ばす



ワニス含浸での  
絶縁補強を施し  
コイル寿命を  
延伸

# サービス提供の流れ



## 釜石電機製作所のこだわり

私たちは、モーター・ポンプを修理するだけでなく、お客様のモーター・ポンプの寿命を延ばします。

- 1 コイルの巻き替え、含浸による絶縁補強、溶射施工など自社技術をさらに磨き上げます。
- 2 自社サービスをたくさんの方に知ってもらい、さらに広域のお客様をサポートしていきます。
- 3 お客様ごとのモーター・ポンプの稼働状況に応じて、適切な整備方法・延命化措置を提案します。
- 4 モーター・ポンプの整備／修理を通して、できる限り交換・廃棄を減らすことによって環境負荷低減に挑みます。
- 5 モーター・ポンプの整備／修理で培ってきた知見を活かして、様々な故障状態に直面しても、しぶとくチャレンジします。

## 会社概要

- 商号：株式会社 釜石電機製作所
- 代表者：代表取締役 佐藤 一彦
- 創業：昭和24年7月10日
- 資本金：5,000万円（資本準備金含む）
- 所在地
- 第一工場（登記上の本社）  
〒026-0055 岩手県釜石市甲子町第9地割171-4  
TEL 0193-23-8151 FAX 0193-23-8159
- 事務所（本社機構）・第二工場  
〒026-0053 岩手県釜石市定内町3丁目3-15  
TEL 0193-21-1751 FAX 0193-21-1752
- 北上事業所  
〒024-0011 岩手県北上市堤ヶ丘1丁目8-20  
TEL 0197-64-0192 FAX 0197-64-0194

※ホームページはこちらから⇒



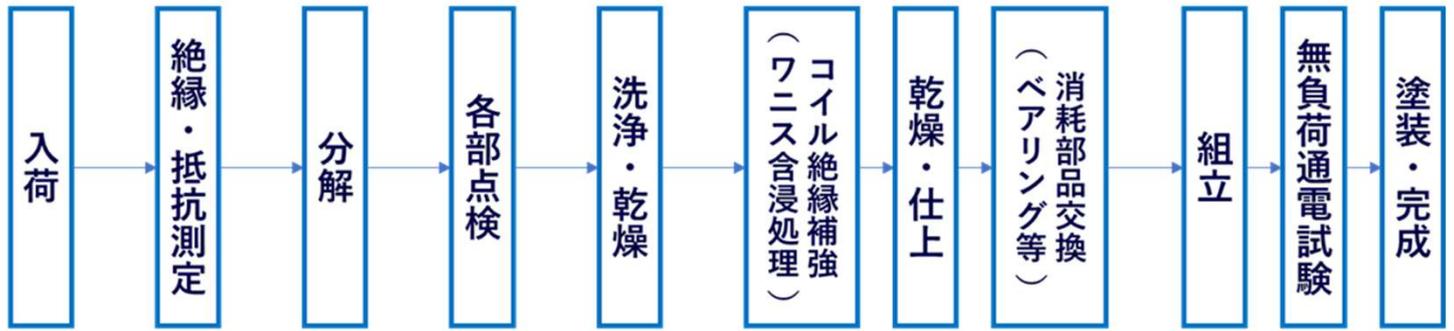
## 会社沿革

1949年	「釜石電機製作所」として岩手県釜石市鈴子町に設立 旧富士製鉄（現在の日本製鉄(株)）釜石製鉄所と、日鉄鉱業釜石鉱業所（現在の釜石鉱山（株））の協力会社として、電動機・発電機等の修理及びメンテナンス業務を開始
1962年	資本金150万円で「株式会社 釜石電機製作所」に改組
1970年	工場を、釜石市鈴子町から市内新町に移転
1993年	資本金を、2,000万円に増資
1994年	工場を、釜石市新町から市内甲子町に移転
1999年	表面処理設備として「溶射システム」導入
2000年	電気工事業・機械器具設置工事業の認可取得 (知事一般 第11003号)
2001年	登記本社所在地を、釜石市鈴子町から市内甲子町に変更
2007年	本社事務所を、釜石市鈴子町から市内甲子町に移転し、新事業組織「第二工場：コイル製作部門」を併設
2008年	「光触媒被覆材の製造方法」特許取得（特許第3944551号）
2009年	いわてものづくり貢献賞（岩手県知事）受賞
2010年	光触媒式空気浄化装置（サンアールエコクリーン）の製造販売を開始
2011年	本社事務所・第二工場を、釜石市甲子町から市内定内町に移転
2013年	リエゾン-I研究開発事業化育成資金（いわて産学連携推進協議会）の受賞
2015年	北上営業所を、社屋を移転し工場を備えて「北上事業所」に変更、環境経済人賞（環境経済人委員会）受賞
2018年	本社事務所・第二工場の土地・建物を取得
2019年	東北オンリーワン企業100社（東北活性研）に選ばれました
2020年	はばたく中小企業・小規模事業者300社（中小企業庁）に選ばれました。「被覆体」特許取得（特許第6304531号）
2021年	光触媒式空気抗菌装置（カザノイア）の製造販売を開始
2020年	いわぎん事業創造キャピタル(株)より出資受入 地域未来牽引企業（経済産業省）に選定されました
2021年	第11回地域再生大賞—コロナ禍を越えて「優秀賞」受賞 第27回東北ニュービジネス大賞表彰制度「奨励賞」受賞 第18回「リエゾン-I研究開発事業化育成資金」を贈呈頂きました



# モーター・ポンプの整備／修理メニュー

## ■基本的なモーター・ポンプの整備の流れ



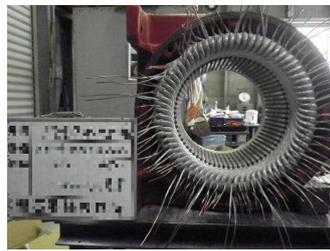
✓ 焼損コイルの巻き替え整備も承ります！



1.コイル抜き



2.コイル製作



3.コイル入れ



4.ワニス含浸処理

✓ シャフト・スリーブ摩耗の溶射加工も可能です！



1.施工前



2.溶射加工



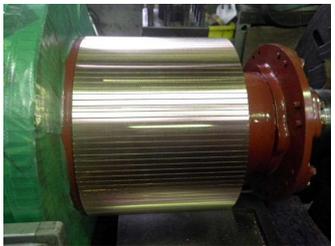
3.再生処理完了

✓ 試験設備も完備！

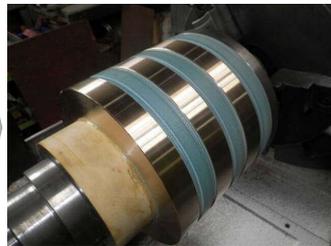


大型モーター用  
無負荷試験設備

✓ 直流/巻線形モーターの修理も承ります！



コンミュテーター  
整備/製作



スリップリング  
整備/製作



直流アマチャーコイル  
巻き替え

✓ 報告書の提出！



整備内容ごとの  
写真アリ

整備内容&試験結果の  
記録管理にご活用下さい

### 整備/修理内容

- ・オーバーホール（含、洗浄・乾燥・ワニス含浸処理）
- ・コイル巻き替え・製作
- ・溶射加工/機械加工
- ・工事（電気機器/機械設備） 等

### 対象機器

- ・交流かご形モーター（低圧/高圧）
- ・巻線形モーター
- ・直流モーター
- ・サイクロ減速機
- ・ギアードモーター
- ・ユーラスモーター
- ・各種ポンプ 等

※現地整備も承ります。施工方法はお気軽にお問い合わせください。

# こんなお困りごとありませんか？



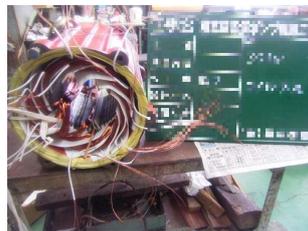
- ✓ 容量・年式等に関係なく、何でも整備ができる業者を知りたい
- ✓ 新品の買い替えでなく、なるべく修理で「早く安く」直したい
- ✓ トラブルが発生したが、何が原因なのか分からない
- ✓ 修理頻度を減らして、できるだけモーター寿命を延ばしたい

## 事例紹介

### 水道工事業A社様



測定値には異常がないのにモーター停止



半焼けしたコイルに対し巻き替え整備を実施

通常の診断だけでは故障原因が分からないモーターも復旧可能

各種測定・試験では異常は見られなかったものの、設備に取り付けて稼働させると過電流でモーター停止していました。コイル焼損までは至らずとも焼損に近い絶縁劣化を突き止めて、コイル巻き替え整備をおこなうことで復旧いたしました。

### 製材業B社様



負荷側シャフト及びステータコイルが焼損



シャフト製作、ステータコイル巻き替え

シャフト折損等の著しい損傷状態でも修理可能

新品への買替えの場合、納期が非常に長期となるため、整備・修理対応で直す必要がありました。シャフト製作・入替からコイル巻き替えまで、当社で一気通貫で迅速な整備を行うことで、お客様の要望にお応えできました。

### 製鉄業C社様



アマチャーコイル巻き替え、コイル入れ



コンミュテーターの製作・交換

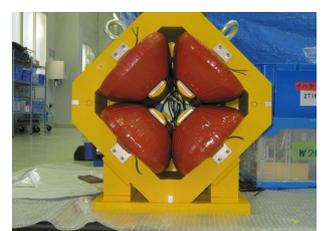
直流・巻線型の回転子（アマチャー、ローター）のコイル巻き替え整備も可能

お客様は、旧式の直流、巻線型モータなので修理できるか不安を感じられていました。当社は、かご形モーターに加えて、直流モーターのコイル巻き替えも施工可能です。今回は、回転子コイルの巻き替えによって、無事復旧いたしました。

### 研究機関D施設様



電磁石コイルの製作



コイルの装着

技術力を活かしてお客様要望にあったコイルを試作可能

お客様は、特定用途向けのコイルを製作できる技術力がある会社を探していました。当社で長年培ったコイル製作技術によって、お客様の要望に応える専用の電磁石コイルを試作いたしました。